

## やさしい日本語の可能性 -つくば市の在日ブラジル人のケース-

Jaqueline Fukushi

### 1. 研究背景

#### 1. 1 やさしい日本語とは

「やさしい日本語」とは、弘前大学から2013年に出版された『「やさしい日本語」作成のためのガイドライン』によると、外国人が日本で被災が起きたときや、上手くコミュニケーションが取れないときなどに、より早く被災による情報をわかりやすく伝えられるために使われている情報伝達ツールである。日本語の勉強をし始めた外国人でも災害のときに他人と通じることができるレベルの実用的日本語である。およそ2,000の語彙と、単純な構造からできた文で、ちょうど日本語能力試験の3、4級に当たる。『「やさしい日本語」作成のためのガイドライン』の例を見ると、図1の通りである。

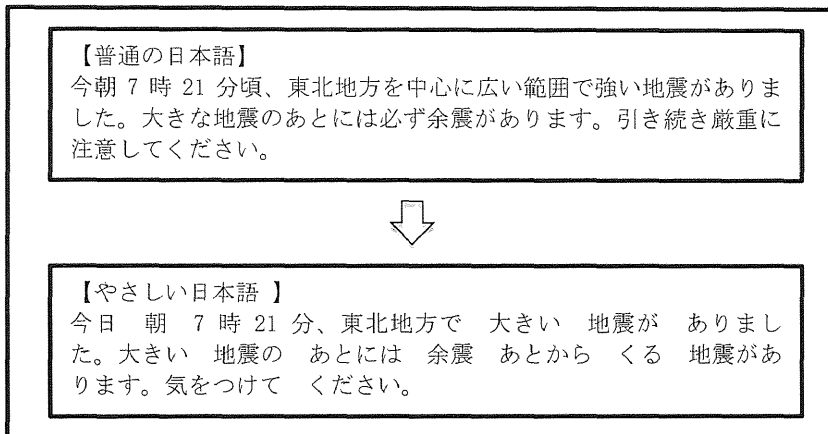


図1 やさしい日本語

「やさしい日本語」ができた経緯は、1995年に起こった阪神・淡路大震災では日本人も日本にいた多くの外国人も被害を受けたことによる。そのときに、地震や避難所などに関する情報は盛んに流されたが、ほぼ日本語であったので、日本語が理解できない外国人には無意味であった。英語で流された情報もあったが、外国人だから英語を必ず理解できるとは言えない。また、たくさんの言語に日本語の情報を訳すことは多くの施設が必要なもので、間に合わないのが現実である。その問題の解決方法の一つとして、やさしい日本語の可能性がある。2011年の東北大地震以前の、2005年に弘前市で行った公開調査で「やさしい日本語」は外国人の中で有効であることが明らかになり、「やさしい日本語」に関する研究・開発は今後も盛んに行うべきである。

「やさしい日本語」の批判される点は、図1の例で確かめられるように、「やさしい日本語」は必ず基の文と同じ意味ではないことと、外国人が「やさしい日本語」に頼り、日本語能力を上達しないことがあり得ることなどである。しかし、外国人の生活を養うことを目的とした「やさしい日本語」はその目的を達成しているため、有効な情報伝達ツールと考えたい。

## 1. 2 日系ブラジル人コミュニティ

ブラジルと日本は長い歴史を持っている。1908年に神戸港から「かさと丸」という船で781人の日本人はブラジルへ移住し、そこからブラジルと日本の繋がりが始まった。1980年代に逆の流れが始まり、日系ブラジル人はブラジルの経済関係で出稼ぎとして来日し、現在は日本にいる外国人のランキングで、ブラジル人は3位を占めている。ブラジル駐日大使館のデータによると、現在日本に在住するブラジル人は27万人に上る。

最初、多くのブラジル人は日本でお金を稼ぎ、帰国すると予測されていたが、時間が経つと徐々に日本の生活スタイルに慣れ、ブラジルへ帰国せず、日本滞在を希望する家族が多くなっている。しかし、常にブラジル人コミュニティの中にいるため、日本の生活スタイルに慣れても、残念ながら日本社会との交流はあまりないことが顕在化している。それは言語にも影響を及ぼし、表1は佐々木(1996:110, 111)による日系ブラジル人の言語状態である。

表1 日系ブラジル人の若者の言語状態

型	説明
1 ポルトガル語優勢型	ポルトガル語の能力はあるが、日本語能力が劣るケースである。
2 ポルトガル語強・日本語弱型	日本語の日常会話能力は身につけるが、読み書き能力は遅れをとる。
3 ポルトガル語弱・日本語弱型	日本語においてもポルトガル語においても単純な日常会話はできる。
4 日本語強・ポルトガル語弱型	日本語・日本文化に慣れ親しんだために、ポルトガル語・ブラジル文化に対する興味も習得度も落ちている。
5 日本語優勢型	ポルトガル語・ブラジル文化を忘れる一方である。

筆者の解釈では多くの日系ブラジル人はコミュニティに入っているため、1、2、3型のケースが多い。それを支える根拠は日本ではブラジル人学校の数が多いことで、そのような学校を通過している学習者は日系ブラジル人年少者である。

## 2. 研究目的

「やさしい日本語」について、弘前大学社会科学研究室は2005年に「やさしい日本語」の有効性を確かめるために公開実験を行った。しかし、実験に参加した外国人は、中国人、マレーシア人、タイ人、ベトナム人、韓国人、台湾人、フランス人、ドイツ人、ルーマニア人で、日本に多く在住するブラジル人の参加はなかった。さらに、対象者は留学生で日本語レベルは旧日本語能力試験の2・3級レベルであり、生活者としての外国人は対象者になっていないと言える。

つくば市とつくば市の近くにある常総市にはブラジル人が多く住み、ブラジル学校で勉強している学習者がいることから、彼らを対象にして、「やさしい日本語」で被災に関する情報が得られるかどうかを検証することが本稿の目的である。つまり、「やさしい日本語」がブラジル人コミュニティの中で有効であるかどうか明らかにするつもりである。結果に基づき、日本語をある程度理解すると、対象者は身を守ることもできることを知らせれば、日本語の勉強の刺激にもなるだろう。

## 3. 研究方法

対象者には「やさしい日本語」が有効であるかどうかを確かめるための実験として、まず、対象者の背景を理解するためにアンケート<sup>1</sup>を行った。

「やさしい日本語」は災害が起きるときに外国人に役に立つと第1節で述べたが、地震の場面においては2011年から様々な情報を普及されているため、今回実験のテーマは火災に設定した。デー

<sup>1</sup> アンケート見本は論文末に資料1として示した。

タ収集は2014年7月中旬に行った。実験の目的は対象者の聴解能力を計ることで、以下の段階で実験を行った。調査方法は、対象者に加えて、日本人参加者<sup>2</sup>と筆者が集まり、口頭で指示を行った。まず、筆者は日本語とポルトガル語で対象者に次の仮定状況を与えた。

「あなたがショッピングセンターを歩いているときに、火災警報がなります。アナウンスがみんな無事にショッピングセンターから逃げるようにアドバイスをしますが、そのアドバイスを聞いて、どのくらい分かりますか。」

日本人参加者はまず、普通の日本語の箱1から3回文を取り出し、読んだ。次に、「やさしい日本語」の箱2から、同じように、ランダムに紙を取り出し、読んだ。対象者は文を聞き、理解したことを筆者と確認する。表2は日本人参加者が読んだ文を示している。

表2 実験で使用された文

普通の日本語 箱1-A	火災の原因はフードコートにあるため、そこにいらっしゃるお客様はその場所から離れ、移動してください。
やさしい日本語 箱2-A	フードコートから逃げてください。
普通の日本語 箱1-B	同伴者が近くにいることを確認し、おられなかったら、消防士に通知してください。
やさしい日本語 箱2-B	一緒に来た人はいますか。 いなかったら、火を消す人に教えてください。
普通の日本語 箱1-C	エレベータが止まる恐れがあるため、階段を使用してください。
やさしい日本語 箱2-C	逃げるときに階段を使ってください。

続けて、対象者とフォローアップインタビュー<sup>3</sup>を行った。フォローアップインタビューでアンケートと実験で明確ではなかったことを確認し、対象者の感想や意見を集めるため行った。

#### 4. データの考察

##### 4. 1 対象者の背景

5名の対象者がいた。女性3名と男性2名で、年齢は15才から17才の年少者である。5年間以上日本在住であり、全員ブラジル人学校で教育を受けている。

表3 対象者の背景

参加者	年齢	性別	日本在住期間
A	15	女	日本生まれ
B	16	女	5年間
C	16	女	10年間
D	16	男	日本生まれ
E	17	男	9年間

表4は対象者の日本語レベルの四段階での自己評価を依頼し、4がもっとも上級で、1が初級レベルである。Dは子どものときから近所の日本人の友達ができ、日本語能力を上達したと言える。A、

<sup>2</sup>日本人参加者は筑波大学の書道専攻の4年生の日本人。自然環境を作るために協力を依頼した。

<sup>3</sup>フォローアップインタビューの見本は資料2に記した。

B、CとEは日常生活でポルトガル語だけで充分生活できることであるため、日本語能力は上達しなかったと考えられる。日本語が必要とされるときに知っている単語や、ジェスチャーというストラテジーを使用されている。あるいは、日本語ができる人と一緒に目的地に行くストラテジーとコミュニケーションを諦めるストラテジーも使う。

表4 対象者の日本語レベル<sup>4</sup>

対象者	話す	聞く	読む	書く
A	2	2	2	1
B	1	1	1	1
C	2	3	1	1
D	4	4	3	3
E	2	2	2	2

表4と表1の佐々木の分類を比較すると、対象者はほぼ1グループ（ポルトガル語優勢型）と2グループ（ポルトガル語強・日本語弱型）に当てはまるのが分かる。

#### 4.2 実験データの考察

表5は実験で得られたデータを示している。1-A、1-B、1-Cは表2で提示された箱1の普通の日本語のアナウンスを示し、2-A、2-B、2-Cは箱2のやさしい日本語のセリフを示している。A、B、C、D、Eは表3で提示された対象者である。

表5 実験データ

アナウンサーのセリフ		A	B	C	D	E
普通の日本語	1-A	×	×	△-	△+	×
	1-B	×	×	△-	△+	×
	1-C	△-	△-	△-	○	△-
やさしい日本語	2-A	△-	×	○	○	△-
	2-B	○	△-	○	○	△-
	2-C	△+	△-	○	○	△-

「○」：全部分かった  
 「△+」：全体的に分かるが、分からない言葉もあった  
 「△-」：いくつかの語彙が分かったが、全体的の意味がわからない  
 「×」：全然分からない

まず、表4の「聞く」データと表5のデータを比較すると、聞く技能の高い対象者は（C、D）他の対象者より、アナウンスが分かったと言える。特に、「やさしい日本語」のセリフが分かりやすかった。それに対して、A、B、Eは普通の日本語がほぼ理解できなく、やさしい日本語にすると、いくつかの語彙が理解できたが、全体的の意味は理解できない。それはフォローアップインタビューの質問1でも分かったことで、5名の対象者は「箱1の方が難しかった」や「箱1は分からなかった語彙の数が多かった」と答えた。

また、分かりやすい語彙と分かりにくい語彙をリストにすると、表6の通りである。普通の日本語の箱1で現れた語彙が分かりにくいと判断されたことが明らかである。分かりやすいと判断された語彙は対象者の日常生活でよく見られる語彙だと解釈できる。

<sup>4</sup> 付録資料1を参照されたい。

表6 分かりやすい語彙と分かりにくい語彙

分かりやすい語彙	分かりにくい語彙
フードコート	火災
お客様	原因
一緒に	移動
人	逃げる
エレベータ	同伴者
階段	消防士
	通知
	恐れ

なお、「やさしい日本語」は普通の日本語より理解しやすいと思われたが、対象者の A、B、E にはまだ難しいようである。語彙自体は分かるが、全体の意味が分からないことは無意味だろう。どのような話題かと、ある程度理解ができ、他人を見てどうすればいいか推測する。それはフォローアップインタビューの質問 2 に当てはまる。もし、「仮定状況は事実としたら、あなたはどのように反応すると思いますか」という質問に A、B、E は他人を見て、真似るという答えであった。C、D は指示が理解できたため、悩みはない様子だった。対象者が分からなかった部分を自分の日本語で言ってくださいと言う問いに対して、1-A と 2-A に相当するのは「建物から出てください」や「外に行ってください」、1-B と 2-B は「友達・家族はみんないますか」と 1-C と 2-C は「エレベータはだめです」や「出るときに階段を使ってください」という提案があった。

最後に、フォローアップインタビューの質問 4 と 5 に関する考察だが、質問 4 として「災害（大地震、台風、火災など）が起きたときに日本語が分かる・話すことは大事だと思いますか。」と尋ねたが、総合的に、日本語がわかることは対象者の身を守るためのよいことだけではなく、もし日本語ができれば、よりよい生活もできるのではないかという考えがあった。日本語ができる知り合いと比較すると、よいバイトができるし、日本人と交流もできるということが意識されている。質問 5 「この調査に参加して、何が心に残りましたか？」に対しては、およそ 2 つの意見があり、一つは、日本語ができるように努力しなければいけないという意見と、一方で日本語の重要性はわかっても、難しいため覚えられないという意見があった。

## 5. おわりに

本調査で明らかになったことは、日系ブラジル人の年少者の中では、ある程度日本語がわかる人に「やさしい日本語」は非常に有効であるが、語彙自体しか理解できない人にはあまり効果的ではない。理由として、文脈が理解できないからであろう。加えて、理解したことを自分なりの解釈し、完全に違うように自己解釈してしまう危険性がある。やさしい日本語ではないが、普通の日本語の 1-C は「エレベータが止まる恐れがあるため、階段を使用してください。」というの、対象者の A と B はエレベータと階段という語彙が理解できたが、エレベータと階段を使ってくださいと解釈してしまったケースである。

第 1 節で述べたように日本語能力試験の 3、4 級に相当した人には「やさしい日本語」が有効だが、それ以下のレベルにとっては、少し難しいと言えるだろう。しかし、よいことは対象者に日本語の重要性を理解させたということである。自分の身を守ることができるし、他に日本でよりよい生活もできることを意識するように導いている。

この調査は 2014 年 7 月に行われたが、2015 年 9 月 10 日に台風の影響で茨城県常総市に洪水があった。洪水の 1 週間後に The Japan Times のニュースでブラジル人がアナウンスについてこのように述べていた。「I didn't understand a thing about what they were saying.」（シバタ、35、建設作業員）。シバタ氏は日本語の日常会話ができるにもかかわらず、アナウンスの言葉の一言も理解できなかったと言う。また、「Japanese people had plenty of time to escape, it seemed, but my friends and I didn't because we didn't understand the warning. Even if we wanted to

call for help, we didn't know what to say. I really thought we were going to die.」というコメントがあった。このような報告があることは、コミュニケーション上の解決すべき問題があることを示唆している。人間の生命に関わることであり、日本人側も外国人側も「やさしい日本語」を努力するべきだと改めて主張したい。

#### <参考文献>

- 弘前大学 (2013) 『「やさしい日本語」作成のためのガイドライン』弘前大学人文学部社会言語学研究室
- 国立国語研究所 (1996) 『日本語と外国語との対照研究VII-日本語とポルトガル語』くろしお出版
- 弘前大学 <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/honjikken.html> (2014年6月15日アクセス)
- 弘前大学 <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/ej-top.html> (2014年6月15日アクセス)
- 弘前大学 <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/ej-index.html> (2014年6月15日アクセス)
- 弘前大学 <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ2shitsumon.htm> (2014年6月15日アクセス)
- ブラジル駐日大使館 <http://www.brasemb.or.jp/portugues/community/informacao.php> (2014年6月22日アクセス)
- The Japan Times <http://www.japantimes.co.jp/news/2015/09/17/national/social-issues/foreign-joso-flood-victims-hit-citys-monolingual-response/#.VhE-Hh0qqk> (2015年9月17日アクセス)

付録資料 1

承認

この調査は筑波大学の「日本語教育特講Ⅱ」という授業のために行っています。このアンケートと実験質問とフォローアップインタビューを行います。参加者の名前や個人的な情報をばれないようにレポートを書きます。問題ではなかったら、サインしてください。ご協力をありがとうございます。

Essa pesquisa tem por fim obter dados para o trabalho final da matéria “Curso Especial de Educação de Língua Japonesa II”, da Universidade de Tsukuba. Será realizado esse questionário, perguntas para o experimento e uma entrevista logo após o experimento. Cuidaremos para que nenhuma informação sobre a identidade dos participantes seja revelada. Pedimos a gentileza de assinar este termo caso não haja nenhum problema em participar da pesquisa. Muito obrigada pela sua participação.

サイン・assinatura

アンケート Questionário

1. Quantos anos você tem? 何歳ですか。Sexo:  F  M 性別:  女  男

2. Há quanto tempo vive no Japão? どのくらい日本に住んでいますか。

3. Em que escola você estuda?どこで勉強していますか。

4. Em uma escala de 1 a 4, sendo 1 não entendo, 2 entendo pouco, 3 entendo razoavelmente e 4 entendo bem, como você considera o seu nível de japonês? Justifique. 自分の日本語レベルを自己評価してください。1はできない、2はややできる、3はまあまあできると4は上手くできる。理由も書いてください。

Fala 話す	1 - 2 - 3 - 4	
Compreensão auditiva 聞く	1 - 2 - 3 - 4	
Leitura 読む	1 - 2 - 3 - 4	
Escrita 書く	1 - 2 - 3 - 4	

5. Você já fez a prova de proficiência em japonês? Qual nível?日本語能力試験を受けたことがありますか。何級ですか。

6. Em que situações você costuma usar a língua japonesa?どの場面で日本語を使いますか。

7. Já houve casos em que você precisou usar a língua japonesa e não conseguiu se comunicar? Se sim, nesse momento qual estratégia você utilizou para se comunicar?日本語が必要なときに日本人とコミュニケーションができなかったというケースがあったことありますか。あるとしたら、そのときにどのようなストラテジーを使ってコミュニケーションを取りましたか。

付録資料 2

## フォローアップインタビュー

1. Você notou diferença entre os enunciados da caixa 1 e da caixa 2? Se sim, qual (quais) diferença(s)?

箱 1 と箱 2 の内容は違いましたか? 「はい」と答えたら、何が違いましたか?

2. Se a situação dada fosse real, como você reagiria?

仮定状況は事実だとしたら、あなたはどのように反応すると思いますか?

3. Com o japonês que você sabe, como você diria as 3 frases que escutou?

自分の知っている日本語でどのように先聞いた文を言いますか?

4. Em uma situação de emergência; seja terremoto grave, tufão ou incêndio, você acha importante compreender/falar a língua japonesa?

災害(大地震、台風、火災など)が起きるときに日本語が分かる・話すことは大事だと思いますか?

5. Qual a mensagem que ficou para você ao participar dessa pesquisa?

この調査に参加して、何が心に残りましたか?